

議会広報特別委員会会議録

(令和7年7月4日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会議会広報特別委員会会議録

本日の会議 令和7年7月4日（金）
招集場所 議員協議会室

出席委員

委員長	金 繁 典 子	副委員長	山 本 美 佐
委員	田 中 純 樹	委員	岡 雄 次
委員	尾 崎 恵 一		

欠席委員

委員	嘉 喜 山 茂
----	---------

出席委員外議員

議長	吉 田 茂 生
----	---------

傍聴委員外議員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長	土 居 章 二	主幹	尾 川 美 保
係長	山 口 昌		

本日の委員会に付した案件

☐「議会広報の編集作業」

開 会	9時40分
閉 会	10時17分

○山本副委員長 そしたらそろいましたので、議会広報特別委員会を始めます。よろしくお願いします。

初めに委員長から挨拶をお願いします。

○金繁委員長 皆様お疲れさまです。全員そろいましたので、早速、今日の委員会を始めたいと思います。

今日は、今回の議会だよりの編集というかレイアウトをお願いする、大成社の岡村さんにも参加していただいています。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、早速、議会広報2025年9月号の編集作業に入ります。編集のやり取りをスムーズに行うためにここからは休憩とし、いつものように休憩として、活発な話し合いをできればと思います。よろしくお願いします。

それでは、休憩に入ります。

(休憩)

○金繁委員長 それでは、9月号の編集作業、休憩を解きます。終わりますこれで。大成社さん、どうもありがとうございました。引き続きよろしくお願いいたします。

それでは、編集作業の中で決まったことを各自よろしくお願いいたします。

では、議題の2なんですけど、広報コンクール、これ、皆さんも全国の議会の優秀、表彰された議会だよりの、ネットなどで拝見されて見られたかもしれませんが、この広報コンクールに応募することができます。

これについて、事務局のほう、説明をお願いいたします。

○土居事務局長 それでは私のほうから、広報コンクールについて概要のほうを説明いたします。サイドボックスのほうに愛媛県町村議会議長会からの通知文書や実施要領等を掲載しておりますので、そちらのほうをご覧ください。

このコンクールは全国の町村議会の議会広報紙を対象としたコンクールとなります。本町議会におきましても、昨年度末から議会だよりの発行を開始したところがございますので、応募条件を満たしております。実際に応募するかどうかを委員の皆様で御協議いただけたらと思います。

応募に際しましては、応募調書と議会広報紙6部の提出が必要ですが、費用等はかかりません。また、全ての応募団体に対しまして、審査委員から講評を添えた参加証が交付されるということとなっておりますので、御協議のほどよろしくお願いいたします。

○金繁委員長 説明ありがとうございました。広報コンクールに、資料をお読みになって、皆さんの御意見をお伺いしたいと思います。いかがですかね。

まず応募するかしないかなんですけれども、メリット・デメリットについてお知らせすると、お金もかからないですし、デメリットというのは特にはないです。で、メリットとしては、応募した後にその講評というか、をしていただけるということなので、今後の参考になるかなと思います。いかがでしょうか、応募するかしないか。

尾崎委員。

○尾崎委員 応募することは非常にいいことで、やりがいもあるんですけど、ただこの、今のこの資料の2ページの条件の括弧1と2を見たら、応募広報紙、原本6部となるんですが、まだうちは6部発行していない段階で、締切りが8月22日。令和7年8月22日までに出せということで、ちょっと無理やないですかね。6部出すことが無理やないですかね。

○金繁委員長 事務局お願いします。

○土居事務局長 今まで出している、例えば1号、2号。創刊号なのか2号なのかを6冊出したらいいます。

(発言する者あり)

○土居事務局長 6号分ではなくて、同じものを。

○金繁委員長 はい。ということで、いかがでしょうか。応募するかしないか。

岡委員。

○岡委員 これは年に1回ですか。

○金繁委員長 はい。

山本副委員長。

○山本副委員長 これ、応募するとしたら、どの分を応募するのですか。

○金繁委員長 はい、それなんですけど、事務局、説明をお願いします。

はい。事務局お願いします。

○山口係長 8月の、締切りが22日までなので、現実的に第3号は間に合いませんので、もう創刊号か第2号となります。

以上です。

○金繁委員長 はい、いかがでしょうか。創刊号か第2号ということになります。

山本副委員長。

○山本副委員長 私は、いいと思います応募するほうが。

で、創刊号がやっぱりちょっと、創刊したよってというのがね、皆さんに知らせることができるので、いいかなと思います。

○金繁委員長 ありがとうございます。応募に賛成で、応募の号は創刊号ということです。

田中委員はどうですか。

○田中委員 ちょっと待ってください。いや、創刊号見ようねって言って今。

(発言する者あり)

○田中委員 創刊号いいですね。

○金繁委員長 はい、では田中委員は、も……

○田中委員 創刊号でいいと思います。

○金繁委員長 創刊号で、応募に賛成と。

岡委員はいかがでしょう。

○岡委員 ちょっとお待ちください。

(発言する者あり)

○岡委員 出してどうだこうだということはないと思うので、全然あの、出して次が申込みできないとかそんなのないと思うので、ぜひチャレンジっていう意味でいいと思います。

○金繁委員長 はい、では応募賛成ということで。

尾崎委員も応募自体は賛成されていたので。

○尾崎委員 大いに結構だと思います私は。

○金繁委員長 はい、では応募するというので、創刊号でよろしいですかね。

(「はい」と言う者あり)

○金繁委員長 では、そのようにお願いします、事務局のほう。

それでは議題の3つ目なんですが、広報研修、以前に皆さんの御希望をお聞きして、ぜひともということだった佐久間先生による研修です。事務局のほうから佐久間先生にコンタクトしていただきまして、来年の2月2日の午前中に研修をしていただけるということです。

で、何について編集していただくかなんですけれども、これについて少し話し合っていたらと思います。先進地事例を紹介していただいたり、デザインレイアウトをいろいろ教えていただいたり、私たちの出している議会だよりをこう見て批評してクリニックしていただくということなどがありますが、いかがでしょう。

これ事務局、時間的には何時間ぐらいなんですかね。先生は前日から来られているんですか。事務局お願いします。

○尾川主幹 1時間半から2時間の間ぐらいかなとは思っています。

- 金繁委員長　じゃあ1時間半から2時間ということで、皆さんどんなことを佐久間先生から知りたいですか。
- 尾崎委員。
- 尾崎委員　デザインについては業者がある程度やってくれるので、今作ったものの内容的な部分を、ここはどうなのかとか、アドバイスをいただいて、次につなげたい、そういうのがいいかなと思います。聞きたいですね。
- 金繁委員長　なるほど。はい。内容についてアドバイスをいただきたいと。
ほかの委員さんはどうですか。
山本副委員長。
- 山本副委員長　やっぱり今まで見た中でよかったものとかそういうものを教えていただきたいなと思います。
- 金繁委員長　先進地事例とかね。そうですね。先進地事例など、ほかのところでよいものを紹介していただきたいということです。
ほか、いかがですか。ほかの委員さんは御意見ございますでしょうか。
(「ないです」と言う者あり)
- 金繁委員長　ないですか。では、議会だよりの内容のアドバイスと、先進地事例というか、よい例を中心にお話しいただきたいということでお願いします。
では、その他、何かございますでしょうか。
事務局のほうから何かありますか。大丈夫ですか。よろしいですか。
前回、私のほうからそれでは、前回、東京での全国町村議会議長会主催の広報の研修に、東京で行われる研修に参加希望ということだったんですけども、それも2月なんですね。
で、今回、この佐久間先生、全国の自治体議会の議会だよりをコンサルタントされている方に直に個別にお話を聞けると、機会ができましたので、今回の東京研修はどうでしょうかということなんですけれども。
- 尾崎委員　講師はこの方ですか。東京の。
- 金繁委員長　東京は違う人だと思います。
岡委員。
- 岡委員　そういう機会が、ちょうど2月に予定しておったんであったのが、こういうところで2月に入ったのであれば、重複する可能性、まあ可能性、内容は違うと思うんですけど、議会として研修っていう機会があると思うので、私は別に東京は急いで行く必要はないかと思います。
- 金繁委員長　ほかの委員さんいかがですか。いいですか。まあ予算のこともありますので、そうしますかね。
では、今回の研修は佐久間先生による研修だけと、今年度は、ということにいたします。
その他なければ、これで今日の委員会を終了いたします。
- 山本副委員長　では今日はこれで終了いたします。ありがとうございました。

委員長